



企画展

きのくにの 物語絵

— 絵解きの聖地・和歌山 —

令和3年(2021)

3月13日(土)

▶ 4月18日(日)

■開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

■休館日 毎週月曜日

■入館料

一般280円(230円)・大学生170円(140円)

※()内は20人以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、
県内に在学中の外国人留学生は無料

■駐車場 展示室入場者は最初の2時間無料、
以後30分ごとに100円



和歌山県立博物館

<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>

〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

— 和歌山城・南側 —

企画展 きのくにの物語絵—絵解きの聖地・和歌山—

さまざまな物語を絵巻物や冊子にしたり、その一場面を掛軸や屏風などに描いた物語絵は、平安時代以降、連綿と作られ続け、人々の目を楽しませてきました。そのうち寺社の縁起を題材とするものは縁起絵ともよばれ、神仏の霊験をきらびやかに伝える信仰の所産として、数多くの資料が伝わってきています。

また高野山や熊野三山を始めとする宗教的聖地が各地に分布し、多数の参詣者や観光客を迎え入れてきたきのくに—和歌山県では、そうした物語絵・縁起絵を絵解きする文化が発達し、今日まで継承されています。

この企画展では、信仰に関わる資料を中心に、近世から近代までの魅力あふれる物語絵をご覧いただくとともに、現代に生きる和歌山県の絵解き文化をご紹介します。

出陳資料

1 縁起を描く—神仏の出現・聖地の形成—

番号	資料名	員数	所蔵	年代	指定
1	天神縁起絵巻	3巻	天満神社（和歌浦天満宮）蔵	貞享2年（1685）	
2	熊野権現縁起絵巻	3巻	和歌山県立博物館蔵	江戸時代	
3	高山寺縁起絵巻 堂本印象筆	2巻	高山寺蔵	昭和18～19年 （1943～44）	
4	裸形上人絵伝 保田龍門筆（複製）	1面	青岸渡寺蔵	昭和26年（1951）	

2 伝説を描く—僧・歌人・経説から—

番号	資料名	員数	所蔵	年代	指定
5	五祖栽松図 長沢蘆雪筆	1隻	草堂寺蔵	天明6～7年 （1786～87）	重要文化財
6	西行物語絵巻	1巻	和歌山県立博物館蔵	天保5年（1834）	
7	至一上人母北田八重像	1幅	個人蔵	江戸時代	
8	妙法蓮華経巻第二	1巻	延命寺蔵	鎌倉時代	那智勝浦町指定文化財

3 物語絵を楽しむ—御伽草子と戯画—

番号	資料名	員数	所蔵	年代	指定
9	道成寺縁起	1巻	和歌山県立博物館蔵	江戸時代	
10	日高川草紙	1巻	和歌山県立博物館蔵	江戸時代	
11	放屁合戦絵巻	1巻	個人蔵	明治22年（1889）	
12	心の双紙	1巻	和歌山県立博物館蔵	天保5年（1834）	

4 絵解きの聖地・和歌山

番号	資料名	員数	所蔵	年代	指定
13	那智参詣曼荼羅	1舗	熊野速玉大社蔵	室町～江戸時代	
14	那智参詣曼荼羅	1幅	正覚寺蔵	江戸時代	和歌山県指定文化財
15	熊野観心十界図	1幅	正覚寺蔵	江戸時代	和歌山県指定文化財
16	熊野本宮参詣曼荼羅	1幀	熊野本宮観光協会蔵	平成19年（2007）	
17	熊野新宮参詣曼荼羅	1幀	新宮市観光協会蔵	平成19年（2007）	
18	道成寺縁起 柳道成筆	1巻	道成寺蔵	昭和9年（1934）	
19	絵解き見台	1基	道成寺蔵	江戸時代	
20	苺萱道心石童丸御一代記絵伝 二宮金嶺筆（複製）	30幀	密厳院蔵	昭和元年（1926）	